

公共事業等施行状況調（令和1年7月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (7月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		元年度 C	C/A	30年度 D	D/B	
		元年度	30年度	元年度 A	30年度 B					
1	治山・治水	23,878	22,307	14,437	12,108	7,398	51.2	5,861	48.4	
2	農林・水産	25,679	24,280	17,852	17,441	5,320	29.8	6,601	37.8	
3	道 路	49,214	41,331	22,941	22,192	13,807	60.2	9,699	43.7	
4	港湾・空港	5,589	6,901	2,426	2,831	975	40.2	1,331	47.0	
5	下水道・公園	6,093	14,676	3,560	9,838	1,407	39.5	6,775	68.9	
6	住 宅	1,736	2,400	1,136	849	372	32.7	696	82.0	
7	庁 舎	744	3,444	603	3,380	153	25.4	2,528	74.8	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	8,344	6,288	7,127	5,313	1,113	15.6	1,304	24.5	
11	工業用水・上水道等	1,242	999	148	87	73	49.3	22	25.3	
12	災害復旧	122	352	15	101	8	53.3	75	74.3	
13	その他	7,993	7,307	4,517	4,044	1,476	32.7	1,094	27.1	
	計	130,633	130,285	74,763	78,183	32,103	42.9	35,985	46.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和1年7月末）

（単位：社、件、百万円、％）

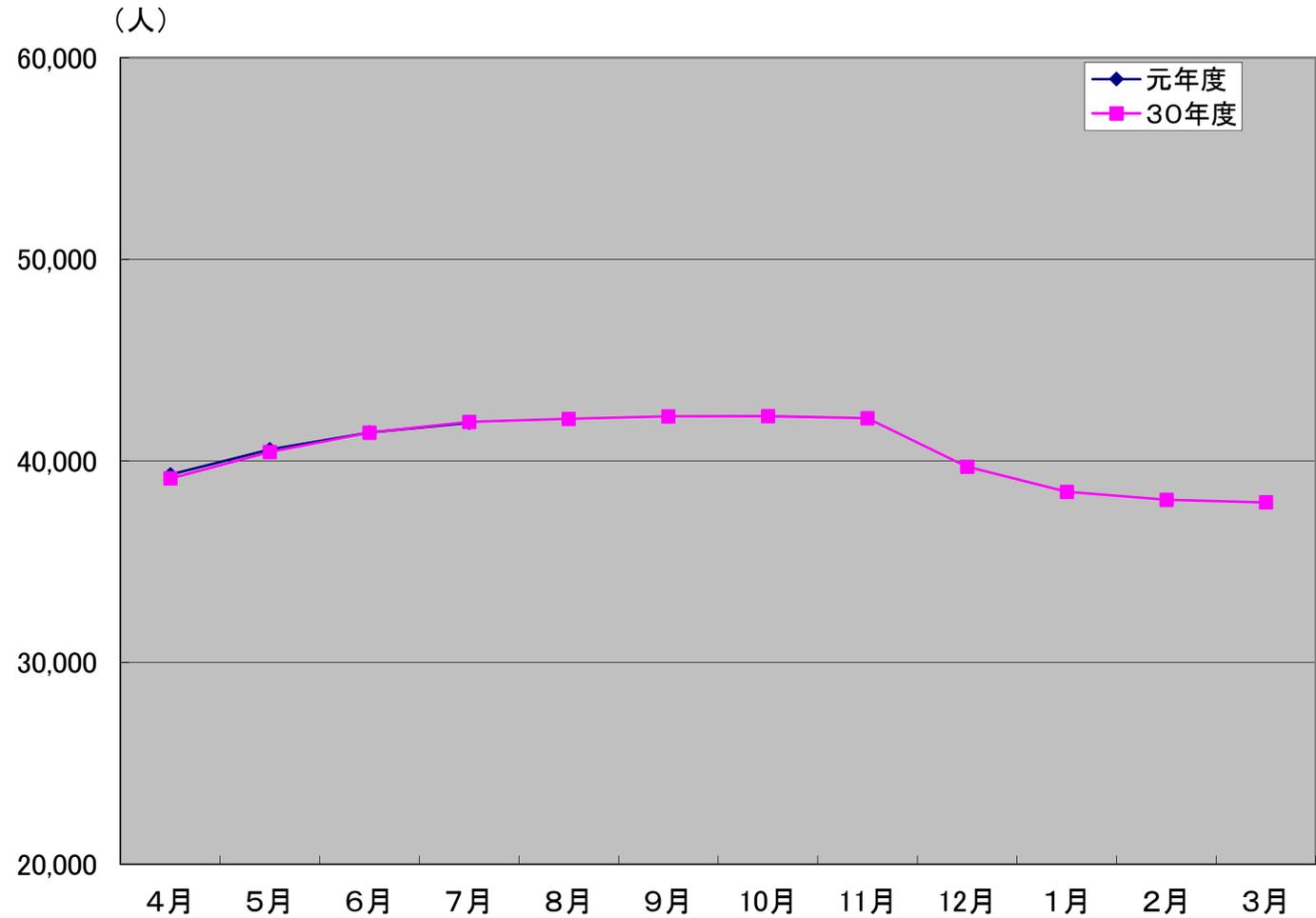
事 項	予 算 措 置 額		発 注 実 績											
	(A)		合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額
元年度	130,633	74,763	10,489	1,045	32,103	10,200	1,002	28,842	243	33	1,301	46	10	1,960
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					42.9	97.2	95.9	89.8	2.3	3.2	4.1	0.4	1.0	6.1
前年度比	100.3	95.6	112.1	109.7	89.2	112.4	111.7	112.8	117.4	94.3	71.4	62.2	47.6	22.8
30年度	130,285	78,183	9,353	953	35,985	9,072	897	25,568	207	35	1,823	74	21	8,594
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					46.0	97.0	94.1	71.1	2.2	3.7	5.1	0.8	2.2	23.9

被保険者数

	元年度	30年度
4月	39,329	39,131
5月	40,575	40,444
6月	41,411	41,404
7月	41,898	41,938
8月		42,090
9月		42,214
10月		42,222
11月		42,114
12月		39,709
1月		38,468
2月		38,075
3月		37,949

前月末被保険者数	41,411
資格取得者数	941
資格喪失者数	490
転入者数	45
転出者数	9
今月末被保険者数	41,898

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)7月末



建設資材の需給・価格動向調査 (元年8月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落										
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の6月の販売量は3万3千トン(セメント協会調べ)で前年同月比1.1%の減。メーカー各社は、値上げの積み残し分の交渉を続けているものの、需要家の購入姿勢は厳しい。先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路用、農業用とも、前年同期比で県内出荷はやや減少している。一部のメーカーは出荷量減少に伴う固定費率の上昇、セメント、骨材などの原材料の値上げを受け、値上げの積み残し分の交渉をしているが、浸透には至っていない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の7月の出荷量は6万2千m3(生コン工組調べ)で前年同月比16%の減。八戸地区では、原材料の砕石等の値上げの要請を受け、メーカー各社が4月から今年度から値上げを打ち出し、値上げ額の一部が浸透。これ以上の値上げに対する需要家の抵抗は強く、先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			八戸地区のメーカー各社は、輸送コストや人件費の上昇を理由に4月から値上げを表明。大口需要家である生コンメーカーは、河川・港湾工事を中心に出荷量が堅調であることや、生コン価格が上伸したことを背景に値上げを受け入れた。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり73,000円と前月比1,000円の下落。新規需要は低調に推移しており、市中は盛り上がり欠いている。需給環境の先行きに不透明感が漂い、市況の先安観が徐々に広がりつつある。メーカー各社は価格維持の姿勢を続けているものの、数量確保を目的とした流通筋による販売競争が広がり、続落した。メーカー各社は価格維持の構えを崩していないものの、夏場以降も早期の需要回復は期待薄との見方が強く、流通筋による販売競争がさらに広がると思われる。目先、弱含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			7月の県内出荷量は7万5千トン(合材協会調べ)で前年同期比4.9%の増。これは、高速道路の延伸工事などで出荷量が増加している地域があるため。しかし、県全体で見ると、小規模物件が中心で需要は盛り上がり欠いている。こうしたなか、一部のメーカーは出荷量低迷に伴う固定費率の上昇を理由に、値上げの意向を示している。しかし、採算確保を優先する需要家の購入姿勢は厳しく、先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。6月の県内新設住宅着工戸数は596戸で前年同月比10.0%の減少(国土交通省調べ)。前月と同様、持家が6.6%増加する一方で貸家は36.1%減少しているが、需給は均衡している。丸太の不足は一時期より改善されてきたが、流通業者が春先以降の原木調達コスト高を販売価格に上乘せする姿勢を続けた結果、矢板等仮設・土木用材の一部が上伸した。先行き、横ばい推移の見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり102.0円と前月比変わらず。重油はローリー渡りで、リットル当たり63.0円と前月比変わらず。中東の政情悪化や世界経済の先行き不安等から、7月の原油相場は上伸・下落を繰り返した。売り各社は都度仕切価格を見直したが、流通筋は現行価格を維持した。中東の地政学リスクは高まっているが、市場では米中貿易摩擦の激化を主要因とした世界経済の減速懸念を、より大きな原油価格の変動要因として捉えている。目先、弱含みの公算が大きい。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,380円と前月比30円の下落。全国的に需要が低調に推移するなか、関東など大消費地の下落の波及が顕在化してきた。新規大型物件が少ない状況下、流通筋は在庫整理による一層の軟化を警戒している。先行き、弱含みで推移する見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり89,000円と前月比1,000円の下落。6月に主要メーカーが値下げを表明して以降、需要家は小口当用買いの姿勢に徹してきた。市中荷動きは低迷し、在庫の過剰感が強まるなか、ジリ安商状が続いている。7月中旬には主力電炉メーカーが販売価格の据え置きを表明。以前から販売価格を維持してきた他メーカーとの足並みもそろい、底感が出始めた。こうしたなか、流通各社は安値販売の回避に向けて売り腰を引き締めており、目先、横ばいの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (元年8月)

区分	品名・規格	単位	青森		弘前		八戸		県平均		備考
			価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m ³	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	2.7	13,100	1.0	
砕石等	洗砂	m ³	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m ³	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	4.3	4,067	1.6	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m ³	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	6.3	2,900	2.3	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	73,000	-1.4	73,000	-1.4	73,000	-1.4	73,000	-1.4	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	87,000	6.1	87,000	6.1	87,000	6.1	87,000	6.1	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m ³	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油類	軽油(ミニローリー渡し)	L	102.0	0.0	102.0	0.0	102.0	0.0	102.0	0.0	102,000円/kl
油類	重油(ローリー渡し)	L	63.0	0.0	63.0	0.0	63.0	0.0	63.0	0.0	63,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,380	-2.2	1,380	-2.2	1,380	-2.2	1,380	-2.2	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	89,000	-1.1	89,000	-1.1	89,000	-1.1	89,000	-1.1	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

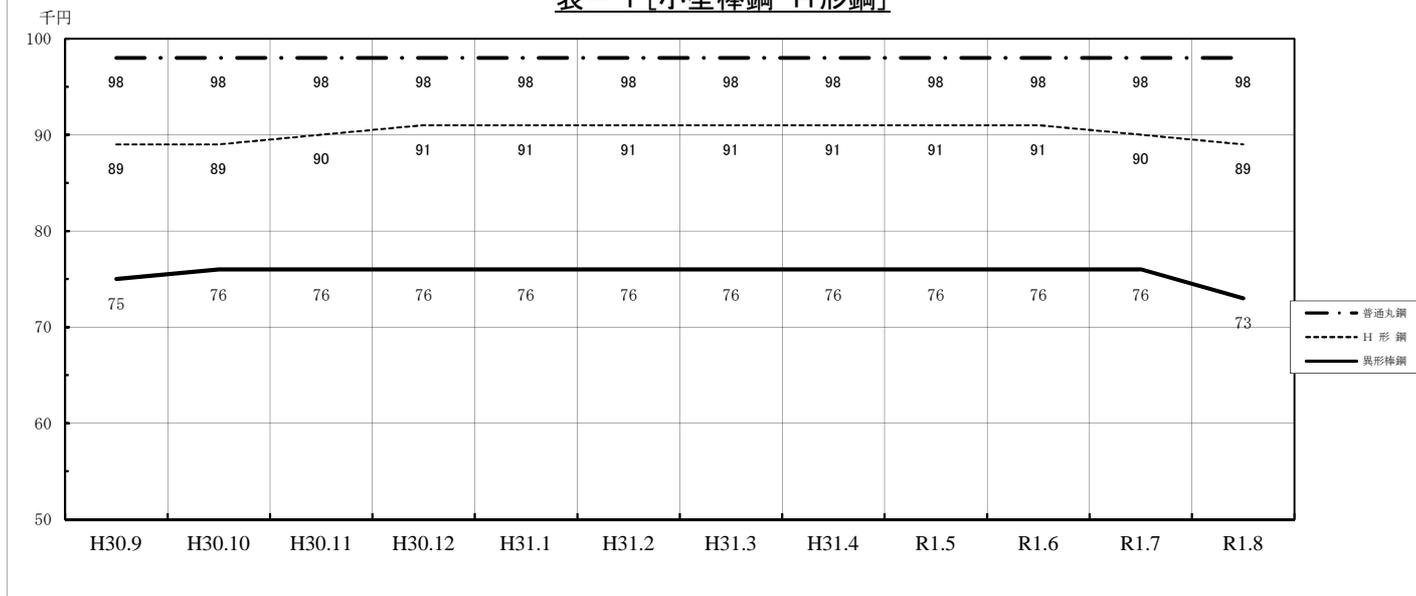


表-2 [セメント・生コン]

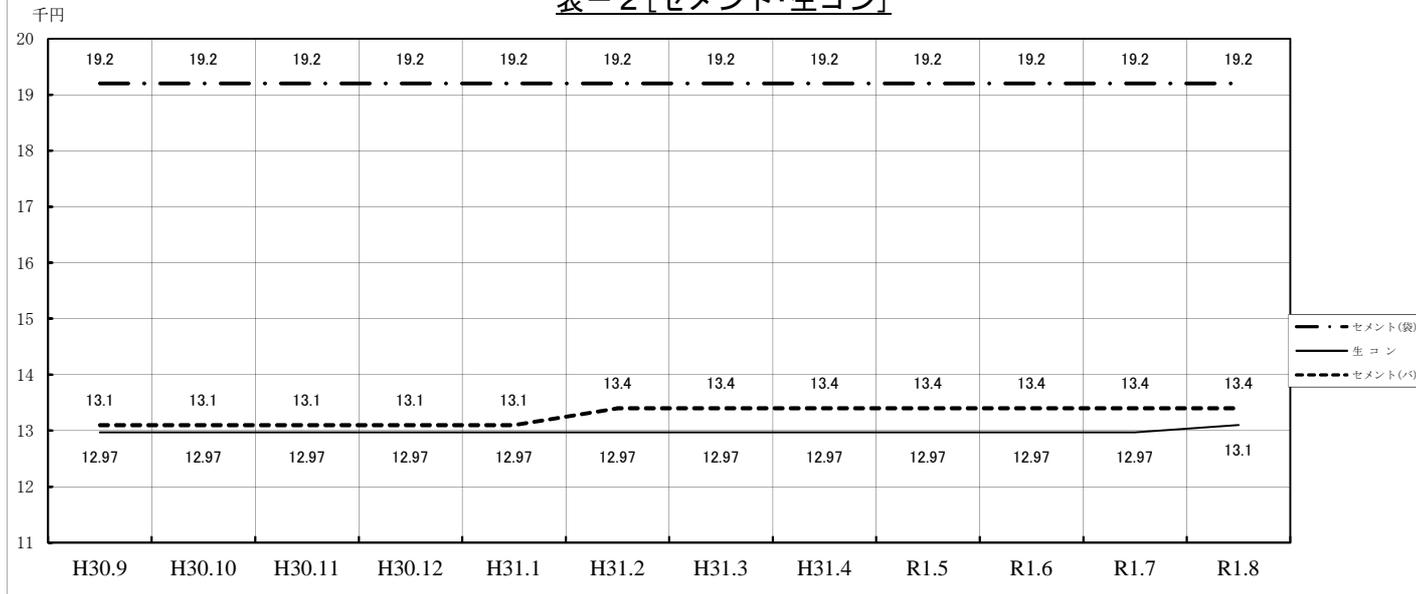
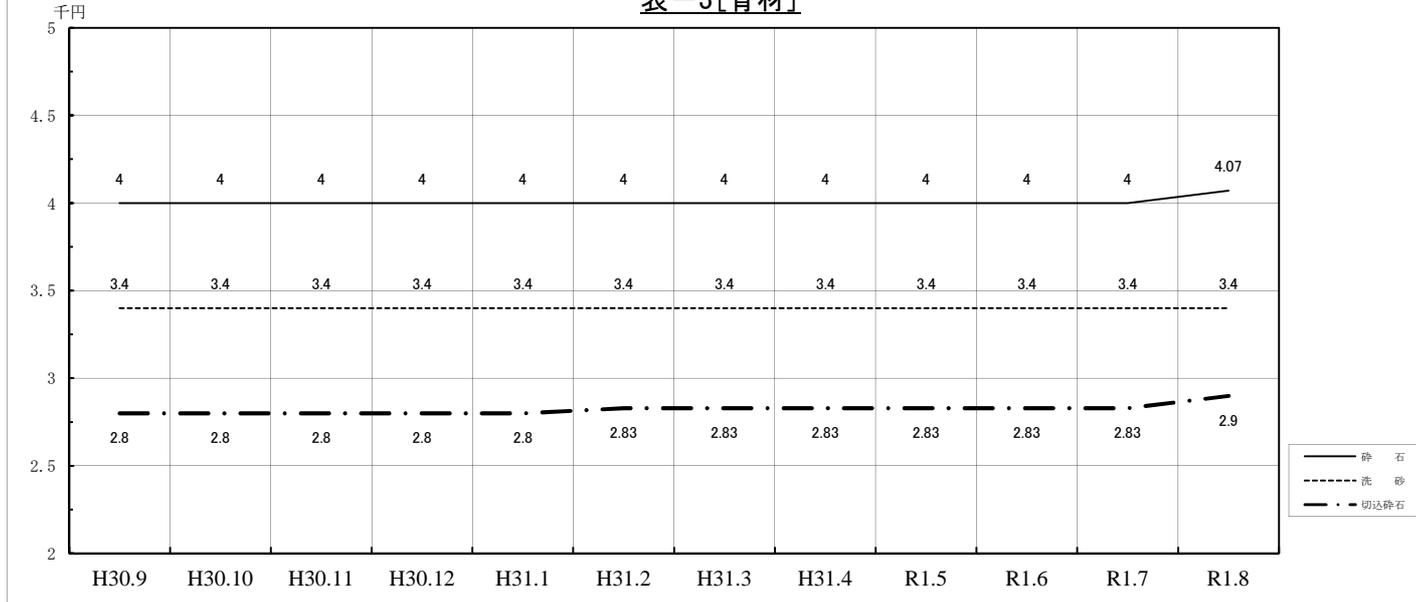


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

